

平成29年度第1回川口市健康・生きがづくり推進協議会会議録

1 開催日時 平成29年7月14日（金）午後1時15分～午後2時30分

2 開催場所 議会第3委員会室

3 出席者 委員14名

松本英彦、福田洋子、三好恵子、鹿嶋広久、渡辺幸男、
浅見まゆみ、渡邊謙、小林昌、布施富美子、寺山樹生、辻昭雄、
龍仙理恵子、多喜みづほ、池内淳一

事務局

鈴木健康増進部長、小澤保健衛生課長、林保健センター所長、
本多保健衛生課庶務係長、大澤保健衛生課保健衛生係長、
田中保健衛生課主査、倉持保健衛生課主任、
泉川保健衛生課主事補

- 4 議 題
- (1) 川口市健康・生きがづくり計画（第二次）について
 - ・掲載事業の取組み状況について
 - (2) 川口市食育推進計画（第2次）について
 - ・食育推進施策の取組み状況等について
 - (3) 健康・生きがづくり通信について
 - ①第14号（案）について
 - ②次号（来年度）のテーマについて

5 会議の概要

議 事	
事務局	本日の推進協議会の開催にあたり、傍聴希望者はいない。
会長	あいさつ
事務局	会議の議長は協議会条例第7条第1項の規定に基づき、会長が務めることとなっているので松本会長にお願いします。

議長	本日、委員定数17名のところ14名が出席しており、協議会条例第7条第2項に基づき、この会議は成立する。
議長	議事録作成にあたり、議事録署名人として小林委員と布施委員を指名する。
議長	議題(1)「川口市健康・生きがづくり計画(第二次)について」の説明を求める。
事務局	「川口市健康・生きがづくり計画(第二次)について」、資料1に基づき説明する。
委員	取組分野(2)循環器疾患・糖尿病における国民健康保険課の「未受診者訪問事業」において、未受診の理由はなにか。
事務局	「通院中のため受診しない」という理由が最も多い。
委員	通院中であっても検診は大事であるため、訪問・電話等で検診の勧奨を引き続き力をいれて行っていただきたい。 また、取組分野(4)身体活動・運動におけるスポーツ課の「きらり川口ツデーマーチ」において、どのくらいの高齢者の方が参加しているのか。
事務局	幅広い年齢層が参加しているが、年齢別は把握していないため、次回の会議で報告をする。人数としては、28年度が2,998人、27年度が2,968人の参加があった。
委員	3.平成29年度の方向性(2)オの保健センターの「がん検診」において、従来のバリウムを使用した集団検診から、胃カメラによる検診方法の変更を川口市医師会で検討している。また、公民館だけでなく近隣の医療機関でも受診できるように準備している。そのため、がん検診の受診率はあがると思われる。
事務局	その事業については、実施に向けて検討している。
委員	がん検診の費用はどのくらいか。個人的に受診するのとはどのくらい違うか。

委員	行政と協議中であるが、従来の検診よりもはるかに負担額は少ない。
委員	子宮体癌、子宮頸がんの検診は少ないため、そちらの方面にも力をいれていただきたい。
事務局	産婦人科医の数も限られているため難しくはあるが、なるべく多く行っていただけるよう、川口市医師会とも協議していきたいと考えている。
委員	産婦人科はかなり減少しており、市内でお産ができる病院は現在のところ4つしかなく、検診できる病院も少ない。受診できる病院が増えるよう、婦人科部会にもその旨を伝える。
議長	議題（2）「川口市食育推進計画（第2次）について」の説明を求める。
事務局	① 「川口市食育推進計画（第2次）について」を資料2に基づき説明する。 ② 「食育推進施策の取組み状況等について」を参考資料に基づき説明する。
委員	2. 目標ごとの主な取り組み予定事業（1）目標1：学んで実践！私に合った健康な食生活において、「食育教室」の実施場所は保健センターだけか。
事務局	年2回、保健センターのみで実施している。
委員	公民館等、場所を分散させて実施したらどうか。
事務局	公民館にある調理器具・食器ではどうしても不足が生じ、実施が難しい。また、衛生上の安全を確保するためにも保健センターで滅菌された器具を使用することが望ましいため、保健センターのみでの実施をしている。
委員	年2回の食育教室の参加人数はどれくらいか。

事務局	平成28年度の参加人数は42人である。
委員	年間の参加人数が42人は大変少ない。今後の開催は、実施場所を分散させるなどの工夫をしてはどうか。
事務局	参考にさせていただく。
委員	2. 目標ごとの主な取り組み予定事業(3) 目標3の市役所マルシェは毎月行われているのか。また、どこで詳しい情報を得られるのか。
事務局	市役所マルシェは毎月行っている。また、情報は広報かわぐちに掲載されている。
委員	市役所マルシェに出展したい場合はどうしたらよいか。
事務局	農政課へお問い合わせいただく。
委員	目標3において、地場産の新鮮野菜、鉢花、加工品等とあるが、どのような団体に販売の依頼をしているのか。
事務局	以前に参加していただいたのは農協、市内商店街など。詳細は農政課へお問合せいただきたい。
委員	参考資料において、保健センター実施事業の実施場所は保健センターのみか。
事務局	記載されているものは実施場所ではなく、実施課であると捉えていただきたい。
委員	実施場所は保健センターのみなのか。
事務局	分散して実施している事業もあるが、保健センターのみで実施しているものもある。
委員	複数課にまたがる事業があるが、連携はとれているのか。

事務局	連携は十分とれている。
委員	食育教室について、衛生面の問題があればそれを改善していく姿勢がない限り食育は広まらない。川口の将来の人口寿命を伸ばしていく上でも、多くの人、幅広い年代に食育を推進していくことは必要である。
事務局	今後、検討していきたい。
委員	連携がうまくとれれば、場所はどこでもできる可能性はあると思う。
事務局	食育を広めていく上で、人的な支援をどのように活用していくかを検討している。食育ポータルサイト等を使用し情報を集約する、また、外部との連携も図っていきたい。
委員	食育教室で行っている食育カルタなどは保健センター以外でも行えるのではないか。また、保健センターで調理したものを他施設に持ち込む等し、参加率をあげることもできるのではないか。
事務局	食育教室は年2回と少ないが、関連した事業の講習は積極的に行っている。しかしながらそういったご意見もあるため、場所があれば実施回数も検討していきたい。
委員	川口市の管理栄養士の数を増やしてもらいたい。
事務局	平成30年度4月の中核市移行に伴い保健所が設置される。それに伴い管理栄養士、医療職等、様々な職種を採用しつつ事業を展開して参りたい。
議長	議題(3)「健康・生きがいづくり通信について」の説明を求める。
事務局	第14号(案)について資料3に基づき説明する。
委員	記載してあるものは概要であり、趣旨がよくわからない。内容

	をしぼった方がよいのではないか。
事務局	ご意見を参考に、内容についても改定していきたい。
委員	高血圧における川口市のデータにおいて、62.4の「%」が抜けている。また、「自分の血圧を知ろう」において一部の文字が変換誤りではないか。
事務局	修正をする。
委員	川口市民で「タバコを吸う人」とあるが、成人であれば川口市民（成人）と記載した方がよい。また、「血圧が高くなる原因とは」において「塩分」とあるが「食塩」に修正した方がよい。
事務局	修正をする。
委員	「そもそも血圧とは・・・」において、心臓の図があるが誤ったものであるので、差し替えた方がよい。
事務局	差し替える。
委員	川口市と埼玉県、全国のデータを比較できる図は数値を実感しやすくとても良い。また、「今からできること」において、具体的に記載するとよい。例として、広く知られていない食塩の多い意外な食品をあげるなどの工夫をしてはどうか。
事務局	ご意見を参考に修正、加筆していく。
議長	その他、事務局から何かあるか。
事務局	健康・生きがいがづくり通信次号のテーマについて資料4に基づき説明する。 次年度のテーマ（事務局案）より、決めていただきたい。
委員	「（1）川口市民健康寿命延伸にむけて」がよいのではないか。
事務局	承知した。

議長	その他、事務局から何かあるか。
事務局	今年度は全2回または3回を予定しているので、よろしくお願 いしたい。
議長	これにて、滞りなく議事が終了した。